

## ダイケンのサイクルスタンド〈CS-M型〉

# 取 扱 い 説 明 書

### ご愛用の皆様へ

- この度はダイケンのサイクルスタンドをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。ご使用の前に、サイクルスタンドの正しい取扱い方法を、十分ご理解いただき、末永く安全にご使用いただくことを、お奨めいたします。

### 安全にお使いいただくために

- 本書では、安全性に関して、重要な内容を記載していますので、内容をよく理解して商品の取扱いを正しく行ってください。又、お使いになる人や、他人の財産への損害を未然に防止するため、次のような表示をしています。



注 意

： この表示を無視して取扱いを誤ると、使用者が重傷を負う危険や、物的損害の発生が想定されます。

参 考

： 取扱いや、保守上において知っておく必要のあることや、支障無く使用するための取扱いや、お手入れ方法など。

### 工事店・施工主様へ

- この取扱い説明書をご使用になる方へ必ずお渡しください。

### 修理のご案内

- 修理に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 製品に関するお問い合わせ又は、万一不都合な点については下記弊社営業所へご連絡ください。

製品不良やメンテナンス部品の在庫のお問い合わせは、お買いいただいた販売店・代理店まで

製品のお問い合わせは  
最寄りのダイケン営業所まで



株式会社  
**ダイケン**

●受付時間 月～金 9:00～12:00/13:00～17:00  
(土日・祝日・年末年始・夏季休業等除く)

■ホームページ [www.daiken.ne.jp](http://www.daiken.ne.jp)  
本社：大阪市淀川区新高2-7-13 TEL (06) 6392-5321

札幌支店 ☎(011)881-3121  
〈北海道エリア〉

東京支店 ☎(03)3633-6551  
〈東京23区エリア〉

駐輪推進営業所 ☎(03)3633-9331

特販営業所 ☎(03)3633-6552

名古屋支店 ☎(0586)77-7561  
〈愛知・岐阜・三重・富山・石川・福井・浜松エリア〉

大阪支店 ☎(06)6392-5556  
〈大阪・兵庫・奈良・京都・和歌山・滋賀エリア〉

盛岡営業所 ☎(019)908-2202  
〈岩手・青森・秋田エリア〉

仙台営業所 ☎(022)235-4380  
〈宮城・山形・福島エリア〉

埼玉営業所 ☎(048)667-9381  
〈埼玉・栃木・群馬・長野・新潟エリア〉

千葉営業所 ☎(043)460-2010  
〈千葉・茨城エリア〉

西関東営業所 ☎(042)722-5040  
〈神奈川・山梨・一部都下エリア〉

静岡営業所 ☎(054)237-5375  
〈静岡エリア〉※浜松エリアは名古屋支店へ

岡山営業所 ☎(086)297-9100  
〈岡山・四国4県エリア〉

広島営業所 ☎(082)294-9181  
〈広島・島根・鳥取・山口エリア〉

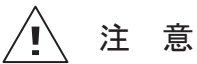
福岡営業所 ☎(092)482-8112  
〈九州7県・沖縄エリア〉

よくあるお問い合わせを  
ホームページで公開中!  
QRコード読み取りで表示



## 1. 使用上の注意

- ◎ このサイクルスタンドに収納できる自転車は、標準タイプ18インチ～27インチ、タイヤ幅60mm以下で設計しております。出し入れに支障をきたすような自転車は収納しないで下さい。タイヤ幅の太い自転車（マウンテンバイク）等、収納できない物もあります。
- ◎ 自転車の収納時は、自転車のスタンドを使用して収納してください。自転車のスタンドを使用しないで収納すると、ラックの変形や自転車自体の破損につながる場合があります。（両足スタンドを立てた場合、スタンド低位用は重量35kg以下スタンド高位用は重量25kg以下まで収納できます）
- ◎ 盗難防止の為、自転車には必ず施錠して下さい。（施錠・開錠の際、頭上や足元には十分注意して下さい。）
- ◎ 自転車の収納及び、取り出すときは、隣の自転車を破損、又は傷つけない様、十分注意して下さい。
- ◎ 誤ったご使用方法での、事故や破損等については、責任を負いかねます。



- ① 人や物を載せたまま、自転車の収納及び、取り出しをしないで下さい。
- ② 自転車（標準自転車18～27インチ）以外の物は収納しないで下さい。
- ③ 自転車の収納及び、取り出すときは周囲の人や、物に注意し、危険が無い事を確認して下さい。
- ④ 自転車は、自転車のスタンドを使用して完全に収納して下さい。（自転車が飛び出したり、自転車に挟まれる等ケガをする場合があります。）
- ⑤ サイクルスタンドの周辺では、子供を遊ばせないで下さい。又、製品の上に乗ったりしないで下さい。
- ⑥ みだりに改造・変更しないで下さい。

## 2. 手入れの方法

### 参 考

- ① 部品が落ちていないか、ボルトや金具類のゆるみがないか、破損が無いかなどの保守点検を、定期的に行なって下さい。
- ② 傷が付いた場合、なるべく早く補修して下さい。